

授業科目	日本の歴史と文化地理Ⅱ				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO21206J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3 DP2-1			
担当教員	家根橋 伸子							
授業概要	『日本の歴史と文化地理Ⅱ』では「日本文化を考える」「日本文化を発信する」能力の養成を目的に、日本の文化を歴史・地理という視点から再認識していく。授業は学生によるプレゼンテーションを軸とし、担当教員・他の学生と共に文化的事象について深く考えていく。各学生は文化事象を自分なりの視点と思索を通じたプレゼンテーションを行い、他の学生はそれに対するコメント記述を行う。さらに、この発表・コメント体験を通して「文化発信力」を養う。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>日本の文化を歴史・地理との関わりの中で考察・理解し、それを説明することができる。</li> <li>各自の関心に基づいて選定した文化事象についてパワーポイントを用いたプレゼンテーションができる。</li> <li>自文化・他文化について多様で深く、かつ実践的な見方ができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	30	30	10	100	
知識・理解 (DP1-1)			5	5	5	2	17	
知識・理解 (DP1-2)			5	5	5	2	17	
知識・理解 (DP1-3)			5	5	5	2	17	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			15	15	15	4	49	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
日本の歴史・文化地理についての豊富な知識を背景に、他国・地域の歴史・文化地理との対照に基づき自らの考えを持つとともに、それを他者と共有していくことができる。				日本の歴史・文化地理についての豊富な知識を他国・地域の歴史・文化地理との対照に基づき身に付け、かつそれらを批判的に検証する中で自らの考えを構築し、表現できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:コースガイダンス コースの目的, 構成の説明を行う。			オリエンテーション、講義		レポート作成		120

	開講時作文「伝統文化とは何か」の作成を行う			
2	テーマ:トピック1「日本語」 トピックに関する講師による解説を行う。	講義	(予習)自分のテーマを決め、 動機をまとめる	60
3	テーマ:トピック1「日本語」 トピックに関する学生の発表と講師による解説	学生の発表, コメント記述, 講義	(復習)授業振り返り記述	60
4	テーマ:トピック2「人・自然・文化」 トピックに関する学生の発表	講義, DVD 視聴, コメント記述	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
5	テーマ:トピック2「人・自然・文化」 トピックに関する学生の発表と講師による解説	学生の発表とシェアリング, 講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
6	テーマ:トピック3「身体・文化①口承文化」 トピックに関する学生の発表と講義	学生の発表とシェアリング, 講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
7	テーマ:トピック3「身体・文化①口承文化」 トピックに関する学生の発表と講師による解説	学生の発表とシェアリング, 講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
8	テーマ:トピック4「身体・文化②文化としてのスポーツ」 トピックに関する学生の発表と講義	学生の発表とシェアリング, 講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
9	テーマ:トピック4「身体・文化②文化としてのスポーツ」, トピックに関する学生の発表と講師の解説	学生の発表とシェアリング, 講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
10	テーマ:トピック5「身体・文化③装う—文化としての衣」 トピックに関する学生の発表と講師による解説	学生の発表とシェアリング, 講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
11	テーマ:トピック5「身体・文化③装う—文化としての衣」, トピックについての学生の発表と講師の解説	学生の発表とシェアリング, 講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
12	テーマ:トピック6「人・都市・文化」 トピックに関する学生の発表と講師による解説	学生の発表とシェアリング, 講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
13	テーマ:トピック6「人・都市・文化」 トピックに関する学生の発表と講師による解説	学生の発表とシェアリング, 講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)レポート準備	60
14	テーマ:まとめ1 全トピックについての学生の発表とトピック全体の振り返りを通して「日本伝統文化」を考える	シェアリング, 講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)レポート準備	60
15	テーマ:まとめ2 前回の振り返りを基にした「文化」についての講師による解説と期末レポートの作成	レポートのシェアリング	レポート作成	60
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日本の歴史・地理に関する基本的知識を習得していること(「日本の歴史と文化地理 1」で扱われている事項について把握していることが望ましい)			
テキスト	授業中に資料を配布する			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	日鉄技術情報センター監修『日本ーその姿と心ー 第9版』学生社 その他、適宜授業中に紹介する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校での歴史・地理授業での文化の扱いとは異なり、この授業は日本文化を生成する土壌として歴史・地理を捉え、日本文化を客観的・主観的に考察し「日本文化とは」という問いを自ら問い直していくものです。自分自身の思考・感情を通した自身の「日本文化論」の構築を期待しています。</li> <li>・自身のプレゼンテーション、さらに他の学生のプレゼンテーションを聴く・フィードバックを行うことにより能動的・主体的に参加をするかによって学習効果は変わります。ぜひ、能動的・主体的参加を心掛けてください。</li> <li>・プレゼンテーション、レポートをイン</li> </ul>			
達成度評価に関するコメント	期末提出レポートをもって試験に代えます。単なる知識の有無ではなく、発表、レポートにおける思考の深さ・多角性・独自性を評価します。プレゼンテーション、レポートをインターネット記事のコピー&ペーストのみで構成した場合、評価不能とします。			